

Voice

～ 海から学ぶ教育効果 vol.3 ～

YMCA 阿南国際海洋センターをご利用いただく幼稚園・各種学校・各種教育団体のみなさまから、実際の活動を通して得られる効果や参加者の変化・成長など、「海から学ぶ教育効果」についての『Voice』をお聞きしました。



関西大学北陽中学校

教頭

川崎 安章 先生

『中学2年生、阿南海洋研修について』

大阪市内に位置する本校は、中学校が開校し7年目を迎え、開校当時より約6年間YMCA阿南国際海洋センターのお世話になっています。本校の取り組みは、中学2年生を対象で2泊3日のプログラムをお願いしてまいりました。毎年人数は異なりますが、約120名余りの生徒に対しプログラムを実施していただいております。

本校のプログラムの目的は、自然の中での活動を通じて規則正しい生活、連帯感、リーダーシップを育成し、将来社会人としての人間力を磨くため実施しており、具体的プログラムは、カヤック、カヌーを中心に昼間活動し、夜は、ホームルームやキャンプファイヤーを行っています。時には、海ほたるの観察を取り入れていた年もあります。

都会暮らしの子どもたちは、幼少時からの遊び場が少なく、家でのゲームで育った子どもたちに少しでも自然の中で活動させることが、人間力形成には一番必要であると確信し、現在も実施しています。

2泊3日と短いですが、帰ってくる子どもたちを見てみると少し成長したように見えてきます。実際に帰ってきてからの学校行事では、思わぬ子どもがリーダー性を発揮してくれることが、毎年のように現れます。これは、少なからず海洋研修の成果ではないかと考えています。

今後も本校では、海洋研修を実施し、あらゆる面で成長する子どもたちを少しでも多く育てたいと考えています。

